

赤池弘次氏の成果解説

ベイジアンモデリングによる実世界イノベーション

統計数理は隠された未来をあらわにする

樋口知之監修・著

インターネットに代表されるICT革命により、人間が関わるあらゆるシステムが大きく変容しつつある。この変容によって、人類は大きな可能性を享受する一方、これまで経験しなかった様々な社会的問題に

直面しているのもまた事実である。

この問題解決において、複雑なシステムが不断に生み出す大量のデータの解析処理およびそこから有用な情報の自動的な抽出、つまり計算機による知識の獲得が重要な課題であることは間違いない。

それでは、研究の最前線ではこの課題にどのように取り組んでいるのか？ それにこたえるのが本書の目

出、つまり計算機による知識の獲得が重要な課題であることは間違いない。

的である。

ベイジアンモデリングによる実世界イノベーション
統計数理は隠された未来をあらわにする



樋口知之監修・著
片岡 博典 著
片岡 博典 著
片岡 博典 著

本書は、赤池弘次・統計数理研究所元所長の第22回京都賞受賞を記念したシンポジウム「ベイズモデルによる実世界イノベーション」の講演をもとに、赤池氏の数多くの業績の一つであるベイズモデルの研究領域について、最新の研究成果をわかりやすく解説した。研究者や学生はもとより、実務の現場で統計数理の活用を考えている読者に有用な一冊となっている。
(A5判156頁、233
10円入税込みV東京電機
大学出版局刊II電話03-
5280-3433)